

学域名	医薬保健学域
学類名	医学類

学類のアドバンス・ポリシー(学位授与方針)

医師として必要な専門知識及び基本的技能の他、幅広い教養、高い倫理観を身につけ、患者中心の全人的医療を推進できる、探求心・探究心をもって継続的学習を行い、最新の科学的研究を理解することが出来る。

学類のQP(カリキュラム編成方針) 学類の学習成果(○)・学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、◎・学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△・学習成果を上げるために履修することが求められる科目

初年度に行う「早期臨床体験」により、医学類に入学した学生に対して、6年間の期学の目標を明確にさせる。その上で2年次以降、基礎医学と臨床医学を関連付けて学ぶような統合的カリキュラムを編成する。少人数で授業やフェロリアル教育を行い、課題探求型の自己学習を指導する。

基礎医学・社会医学専門領域における専門的な知識を身につける。 臨床医学領域に診察及び治療の基本的技能を修得する。 自ら必要な課題を発見し、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 科学的根拠に基づく医療の重要性を理解する。 探求心・探究心をもって進んできた継続的学習を行うことが出来る。 科学的根拠に基づく医療の重要性を理解する。 科学的根拠に基づく医療の重要性を理解する。 患者の自己決定権の重要性を理解する。 自分自身の行動を省察し、評価することができる。 医師としての社会的責任を理解する。 価値観の多様性を理解し、尊重する。 幅広い教養を背景に、患者本位の医療を実践出来る。 地域における関係・保健・福祉などの連携を理解する。 患者・家族等と良好な関係を築く。 他者の医療従事者との連携を重視する。 医師としての責任感、指導力、意思疎通能力をもって、効率よく問題解決に当たる事が出来る。 医療従事者の健康・安全管理の重要性を理解している。 医療事故に際した医師の責任と罰則規定を理解している。 医療事故の予防

学類のカリキュラム	科目名	履修科目	学年	前期	後期	履修	基礎医学	社会医学	臨床医学	基礎臨床	臨床検査	薬学	看護学	公衆衛生	保健医療	医療倫理	医療経済	医療法	医療政策	医療教育	医療安全	医療事故
-----------	-----	------	----	----	----	----	------	------	------	------	------	----	-----	------	------	------	------	-----	------	------	------	------

基礎医学	基礎医学	1) 自ら課題を発見し、調べ、まとめることで、学習デザイン能力と論理的思考力を向上させる。 2) ディスカッションやプレゼンテーション、レポート作成を経験し、自己表現能力を向上させる。	1	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	生体の構造	光学顕微鏡および電子顕微鏡レベルの形態から生命のしくみを理解する。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	人体の正常構造	1) ヒトの生理的な営みや、疾病や傷害における病態生理を、それに関わる人体の構造に基づいて説明できるようにする。 2) このほかから作られる過程・しくみ(発生学)や、他の生物との違い(比較解剖学)、ヒトの進化の過程(比較発生学)を理解することで、生物の一端としてとらえたいわゆる生命の連続性や共通性を理解する。また、講義、実習とも自主的な考察と積極的な学習を促すために、ホームワーク、レポートや学生による発表会の時間を設けている。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基礎医学	生体の機能	生体機能の基本を、各器官とそれを構成する細胞、分子のレベルに立脚して理解する。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	動物実験と再生医学	動物実験の知識と倫理を修得する。また、遺伝子改変動物学についての最新の知識を習得し、ポストゲノム時代のヒトの遺伝子解析における遺伝子改変動物の重要性を理解する。さらに、幹細胞を用いた再生分子医学について理解する。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	細胞・組織の構造	地球規模で保健医療問題を理解し、我が国が、また自分自身ができることを考える機会をもつ。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	臓器の構造	光学顕微鏡および電子顕微鏡レベルの形態を自分の目で観察する。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	臓器の機能	臓及び器官の構造及び機能を解説できるようにする。また、各神経の役割、起点および終点を述べ、さらにその異常についての説明ができるようにする。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	人体の発生	人体を構成する主要臓器において、その起源・発生の過程・および主立った発生異常を述べることができるようになる。	2	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	免疫学	1) 免疫システムの基本的構成と特性を理解する。 2) 抗体の構造と機能、さらに多様性生成のメカニズムを理解する。 3) 主要組織適合性抗原の構造と抗原提示における役割を理解する。 4) T細胞の活性化と機能を理解する。 5) サイトカインの分類と役割を理解する。 6) 抗体依・非抗体依免疫を理解する。 7) 感染免疫・自然免疫を理解する。 8) アレルギー・自己免疫疾患・移植免疫・腫瘍免疫の基礎的知識を理解する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	生体の機能と統合	各器官を構成する細胞、分子のレベルに立脚して理解する。疾病の病態生理を理解・追求しうる知の基礎体力を獲得する。実習では、講義で学習した生体の各機能についてさらに理解を深め、各系の有機的な連携について考察する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	生体の機能と統合	神経系の正常機能について、医学生として当然修得すべき基礎知識を修得する。さらに、神経科学の基本的概念を理解する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	生体分子と細胞の機能	従来型の講義は指定された教科書にもとづいており、不足分は各自教科書で学習する。また、ホームワーク、レポートや学生による発表会を通して自主的な考察と積極的な学習を行う。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	ウイルス感染	ウイルスの基本的な正常と病原性、ウイルス感染に対する生体反応・予防、各種ウイルスの特徴と病原性について正確な知識を身につける。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	細菌感染	個々の感染症の病原体は何であり、どのようにしてその病態が生じているかを分子生物学的に理解する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	寄生虫学	1) 寄生虫・衛生動物の基本的なライフサイクル、病態、病理、診断、治療、予防について正確な知識を身につける。 2) 世界および日本における寄生虫症流行の現状と重要性を理解する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	法医学	1) 人の生と死、特に死体現象、異状死体、並びに代表的な内因死・外因死について説明できる。 2) 検死・検案に関する基本的知識を学び、基本的な態度及び技能を習得する。 3) 死亡診断書と死体検案書の違いを説明し、適切な文書を作成する基礎を身につける。 4) 個人識別に関する基本事項や応用について学び、特に、広義血液型(DNA多型)を含むことについて説明できる。 5) 医療事故や医療紛争についてその現状を知り、その予防や解決について学習する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	医療保健	姿勢保持、歩行運動、および各種運動機能が関係する運動についてバイオメカニクスと神経科学の面から系統的な理解を深め、それらの運動機能障害に対する運動療法について学習する。生活習慣病の一つである運動不足病について理解し、運動処方の方針を学習する。	2,3	*	**	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	遺伝学	物質・細胞・遺伝子ならびに集団の視点から遺伝に関する知識を習得し、遺伝情報の継承(遺伝子)と多様性について説明できる。遺伝学とゲノム科学との結びつきや、疾患理解における遺伝学の意義について理解できる。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	病態生理	特定の課題について文献を読んで自主的に調べ解決することが出来る。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	一般内科	内科における症候学、診断学、治療学の基本を学習する。内科診断の実際をいくつか提示するので、各疾患の診断に必要な知識、検査、治療法についても合わせて学習する。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	一般外科	手術を中心とした外科領域で扱う疾患の病態・生理、診断および治療法を包括的に学び、外科学の概要を理解する。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	臨床遺伝学	1) 将来医師となり遺伝性疾患の症例を受け持つことになった際、診断のための正しい指針を思い出しることが出来る。 2) また、患者及び家族の意思を尊重し、軽はずみな言動は避け、必要に応じた適切な遺伝カウンセリングを紹介出来る。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	臨床放射線・核医学	臨床医学の勉強における放射線医学が理解できるようにする。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基礎医学	免疫アレルギー	各疾患の免疫学的病態を理解する。用いられる免疫学的検査法の原理と検査結果の意味付けが理解できるようにする。免疫学的治療の原理や効果および副作用について理解する。	3	*	*	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

学域名	医薬保健学域
学類名	医学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

医師として必要な専門的知識及び基本的技能の他、幅広い教養、深い専門性を身につけ、患者中心の全人的医療を推進できる、探求心・研究心をもって継続的学習を行い、最新の科学的研究を理解する事が出来る。

学類のOP(カリキュラム編成方針)

初年度に行う「早期臨床体験」により、医学類に入学した学生に対して、6年間の進学目標を明確のさせる。その上で2年次以降、基礎医学と臨床医学を関連付けて学べるような統合的カリキュラムを編成する。少人数で行う実習やチュートリアル教育をとり入れ、課題探求型の自己学習を指導する。

学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

科目番号	授業科目名	学習目標	学年	前期	後期	A. 知識及び技能		B. 探究心		C. 倫理観		D. 地域医療		E. コミュニケーション		F. 危険・事故の予防		
						基礎医学・社会医学領域における専門的な知識を身につける。	臨床医学領域に於ける専門的な知識を身につける。	自ら必要な課題を養い、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。	科学的根拠に基づき医療の質と検証の必要性を理解する。	探求心・研究心をもって生涯にわたる継続的学習を行うことが出来る。	患者の自己決定権の重要性を理解する。	自分自身の行動を省察し、責任を担うことができる。	医師としての社会的責任を理解する。	価値観の多様性を理解する。	幅広い職業背景に、患者本位の医療を実践出来る。	地域における医療の経済的側面を理解する。	患者・家族等と良好な関係を築く。	他の医療従事者との連携を重視する。
	応用臨床実習、クリニカルクラークシップ	病歴及び外来で実際の患者について学ぶことにより、必要な診察(検査・診断、治療計画等)が出来るようになる。また、患者や医療チームとのコミュニケーションを促し、より医療現場に近づけるようになる。	6	*		○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	応用基礎配課	自らが計画を立てて実験を行い、周囲の人とのディスカッションを通じて、結果の解釈・考察を行う事が出来る。	6	*		◎	△	△	◎	◎	△	○	△	△	○	○	○	△
	医学研究実習	自らが計画を立てて実験を行い、周囲の人とのディスカッションを通じて、結果の解釈・考察を行う事が出来る。	1~6	*	**	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	△	○	○	○	△
	最新医学研究	最新の医学研究に関する発表の概要を理解できる。	1~6	*	**	◎	△	△	○	◎	△	○	△	△	○	○	△	△
	医学研究プレゼンテーション	周囲の人とのディスカッションを通じて、自身の研究成果を発表することが出来る。	1~6	*	**	○	△	△	◎	◎	△	○	△	△	◎	◎	△	○
	英語コミュニケーション	基礎医学英語を使用することができる。	1~6	*	**	○	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○
	英語医学英語	医療の現場や研究の場で基礎医学英語を使用することができる。	1~6	*	**	○	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○